



平成27年度

船橋市

市民公益活動公募型支援事業

実施事業事例集

発行

船橋市 市民生活部 市民協働課

平成28年5月



「市民公益活動公募型支援事業 実施事業事例集」の発行にあたって

「市民公益活動公募型支援事業 実施事業事例集」は、市民公益活動公募型支援事業を創設した平成22年度から毎年度作成しており、今年度で6冊目の事例集となります。

今回の事例集では、平成27年度実施事業として採択された15件の事業について、各市民活動団体が原稿を作成しています。

各団体のページでは、実施した事業の内容や支援金の支出内容、どのような成果があったか、そして今後の展望について、各団体が記述しております。

※平成22年度からの「市民公益活動公募型支援事業 実施事業事例集」は、船橋市のホームページに掲載されておりますので、是非ご覧ください。

【市民公益活動公募型支援事業 平成27年度実施事業一覧】

事業立上型 3件【支援率：支援対象経費の80%以内 限度額：20万円】

No	団体名	事業名称	頁
1	正伯塾	ふなばし郷土史講座	4
2	夢を育てるキャリア教育の会	「自分らしく生きる力を～」夢を育てるキャリア教育の推進・普及とキャリア教育支援活動事業	5
3	ふれあい船橋	触れ合うことによるコミュニケーションの提案事業	6

事業提案型 12件【支援率：支援対象経費の50%以内 限度額：100万円】

No	団体名	事業名称	頁
4	三番瀬写真展実行委員会	第3回みんなの三番瀬写真展	7
5	NGO三番瀬のラムサール条約登録を実現する会	三番瀬・東京湾のお魚・生き物出前授業	8
6	丸山を元気にする会	周辺農家、大学生、専門家と連携した魅力的な船橋市丸山地域づくり事業	9
7	NPO法人シビルまちづくりステーション 船橋防災関連プロジェクトチーム	「土砂災害から身を守る」に関連する調査・提言、知識普及および広報事業	10
8	船橋市援農クラブ	農業ボランティア活動事業	11
9	船橋ワーキングマザーの会	働く/働きたいママのための地域コミュニティ	12
10	親業ひまわりの会	心と心のかけ橋を作り、温かい親子関係を築くコミュニケーションのコツを学び広める活動	13
11	フィールドミュージアム・三番瀬の会	三番瀬をフィールドとしいきものの生物生態系や自然環境の循環を学び、市民としてまちづくりに貢献する事業	14
12	“伝えよう船橋”の会	船橋かるたによる、子供の健全育成を図る活動及び住みよい魅力あるまちづくり推進	15
13	船橋漁港の朝市委員会	みんなおいでよ！船橋漁港の朝市	16
14	坪井湿地を復活する会	坪井のヘイケボタル復活計画	17
15	船橋障がい者スポーツ協会	船橋市障害者スポーツ・レクリエーションの普及・推進	18

【市民公益公募型支援事業の概要】

「船橋市市民公益活動公募型支援事業」は、市民の皆さんによる地域に役立つ取組みに市が必要な支援を行うといった「市民との協働によるまちづくり」があらゆる場面で展開されるように平成22年度に創設しました。

この制度は、市民活動団体から提案のあった事業について、その内容を審査し、公益性や社会貢献性の効果がある事業に対して、市が支援金を交付するものです。

支援金は「事業立上型」「事業提案型」の2種類で、それぞれ上限額と支援率を設定しています。「事業立上型」は、市民活動団体の設立後3年未満の団体が行う公益事業で、「事業提案型」は市民活動団体が主体となって行う公益事業か、市と市民活動団体が協働で行う事業が対象となります。

支 援 金 の 種 別	支援率	限度額
事業立上型 設立から3年未満の市民活動団体が行う新規公益事業の実施に対し交付する支援金（交付は1回に限ります。）	支援対象経費の80%以内	20万円
事業提案型 市が市民活動団体から提案を受けた公益活動の事業費に対し交付する支援金（同一事業による継続は原則3年度を限度とします。） ※提案内容が特に公益性の高い事業であると認められたときには、支援率を80%とします。	支援対象経費の50%以内	100万円

対象となる事業は、支援金の交付により成果又は効果が期待できる事業として、平成27年4月1日から平成28年3月31日の期間内に着手かつ完了し、船橋市内で行われる地域課題の具体的な解決に向けて取組む活動です。

申込みのあった事業の選定にあたっては、公募の市民委員を含む第三者で構成される「市民活動支援審査会」において、「公益性」「効果性」「適格性」「必要性」「新規性・アイディア性」「連携性・協働性」の観点に立った評価が行われます。

評価項目	審査事項
公益性	対象活動に持続性があり、広く市民の利益に貢献するものであること。
効果性	対象活動に対して支援金を交付することが、費用対効果の観点からみて適切であること。
適格性	団体の運営基盤が資金面、人員面において整っており、対象活動が団体の活動体制・推進能力に見合ったもので、実現可能な取組みであること。
必要性	社会的必要性の認められる活動で、市の公益課題の改善に資するものであること。
新規性・アイディア性	対象活動の目的の設定、実施方法に新たな着想や創意工夫があり、社会的に有用な取組みとして効果が期待できること。
連携性・協働性	民産学官等連携した取組みにより事業成果の相乗効果が見込まれること、または、市と協働する必要性、妥当性、課題解決の緊急性、重要性が高く、自立性が確保され、役割分担が適正に行われていること。

【平成 27 年度実績】

	申請件数	採択件数	交付件数	支援対象経費総額	支援金確定額
事業立上型支援金	3 件	3 件	3 件	799, 477 円	528, 669 円
事業提案型支援金	1 7 件	1 3 件	1 2 件	2, 644, 209 円	1, 320, 317 円
【 合 計 】	2 0 件	1 6 件	1 5 件	3, 443, 686 円	1, 848, 986 円

※事業提案型で採択された 13 件のうち、1 件は採択後に市民活動団体から取り下げ

【平成 22 年度から平成 27 年度までののべ実績】

	申請件数	採択件数	交付件数	支援対象経費総額	支援金確定額
事業立上型支援金	2 7 件	2 6 件	2 6 件	6, 544, 126 円	4, 179, 466 円
事業提案型支援金	1 3 0 件	1 0 9 件	1 0 4 件	42, 876, 094 円	20, 587, 746 円
【 合 計 】	1 5 7 件	1 3 5 件	1 3 0 件	49, 420, 220 円	24, 767, 212 円

※制度導入からの 6 年間で 75 団体からの申請があり、このうち 54 団体に対して支援金を交付

【平成 26 年度実績】

	申請件数	採択件数	交付件数	支援対象経費総額	支援金確定額
事業立上型支援金	1 件	1 件	1 件	116, 308 円	93, 046 円
事業提案型支援金	1 8 件	1 6 件	1 6 件	4, 607, 539 円	2, 263, 272 円
【 合 計 】	1 9 件	1 7 件	1 7 件	4, 723, 847 円	2, 356, 318 円

【平成 25 年度実績】

	申請件数	採択件数	交付件数	支援対象経費総額	支援金確定額
事業立上型支援金	4 件	3 件	3 件	767, 312 円	552, 622 円
事業提案型支援金	2 5 件	2 0 件	1 9 件	5, 700, 969 円	2, 688, 956 円
【 合 計 】	2 9 件	2 3 件	2 2 件	6, 468, 281 円	3, 241, 578 円

※事業提案型で採択された 20 件のうち、1 件は採択後に市民活動団体から取り下げ

【平成 24 年度実績】

	申請件数	採択件数	交付件数	支援対象経費総額	支援金確定額
事業立上型支援金	6 件	6 件	6 件	1, 081, 442 円	739, 701 円
事業提案型支援金	2 8 件	2 5 件	2 4 件	12, 421, 404 円	5, 841, 783 円
【 合 計 】	3 4 件	3 1 件	3 0 件	13, 502, 846 円	6, 581, 484 円

※事業提案型で採択された 25 件のうち、1 件は採択後に市民活動団体から取り下げ

【平成 23 年度実績】

	申請件数	採択件数	交付件数	支援対象経費総額	支援金確定額
事業立上型支援金	6 件	6 件	6 件	1, 779, 826 円	1, 095, 606 円
事業提案型支援金	1 6 件	1 5 件	1 4 件	8, 584, 428 円	3, 868, 898 円
【 合 計 】	2 2 件	2 1 件	2 0 件	10, 364, 254 円	4, 964, 504 円

※事業提案型で採択された 15 件のうち、1 件は採択後に市民活動団体から取り下げ

【平成 22 年度実績】

	申請件数	採択件数	交付件数	支援対象経費総額	支援金確定額
事業立上型支援金	7 件	7 件	7 件	1, 999, 761 円	1, 169, 822 円
事業提案型支援金	2 6 件	2 0 件	1 9 件	8, 917, 545 円	4, 604, 520 円
【 合 計 】	3 3 件	2 7 件	2 6 件	10, 917, 306 円	5, 774, 342 円

〔正伯塾〕

記入日：平成 28 年 3 月 13 日

【団体の概要】

平成 26 年 2 月に設立し、世代を超えた住民の交流をめざし、以下の活動をしています。

- ・地域学＝船橋周辺地域の歴史・文化・産業の調査研究。当面、歴史事象の習得、地域の調査・研究します
- ・丹羽正伯の広報活動＝街活事業推進
- ・スマホ・携帯電話の使い方を、中高大生がシニアに教える等



【第 13 回ふなばし郷土史講座】

＜事業報告＞【支援金確定額：147,490 円 支援率：56.6%】

■実施した事業の内容

市内の歴史事象を小青壮年層に引き継ぎ、市民の知見を向上し貯蔵するとともに、世代間の交流を図るため、「船橋郷土史講座」を実施しました。

講座は毎月 1 回、合計 12 回開催し、延べ 402 名の方にご来場をいただきました。基本的には薬円台自治会館を会場として使用しましたが、6 月 18 日は「一周年記念講演会」として薬円台公民館の講堂を使用しました。

講座では、専任講師として滝口昭二先生を招聘し、渾身の講演をいただきました。支援金で設備させていただいた「プロジェクター」は想像以上の効果をもたらしました。参加者は、大部分の方が高齢者になりましたが、これまでのペーパーによる文字のみの講演・解説では得られない、ビジュアルに大型の画面によって、効果的なわかり易い講座になりました。そのためか、講座終了後の活発な質問、それから発展してゆく風論談論は時として有意義な時間でもありました。

■支援金の支出内容

- ・備品費—プロジェクター、スクリーン
「プロジェクター」の導入は、過去の講演会等になかった変容をもたらしました。
- ・報償費—講師への謝金
- ・消耗品費及び原材料費—事務用品やチラシ印刷用のインク、用紙等
- ・印刷製本費—チラシの印刷製版、資料等のコピー代
- ・通信費—講師への連絡、資料送付等のため切手代
- ・使用料—薬円台自治会館および薬円台公民館の使用料



日本で最初にチューリップを植えた御滝花園。
現在は、シクラメンのかほりいっぱいです。

■事業の成果と今後の展望

世代交流事業に向かい徐々に進めていこうと思います。まずは「ふなばし学」です。綿貫先生をメインとし、船橋の縄文弥生から古墳時代を文化課や飛ノ台史跡公園博物館のご協力も得、更に、農業家、漁業家、Shirase の方、県博物館の方等々盛沢山の内容を予定しています。また、たまには都内から船橋をみようという意識で、9 月には、上野寛永寺・東照宮(内部閲覧)予定です。経済成長以上に、文化度の向上が問われます。大都市周辺の都市は、互いに有機的関係にあります。豊かな未来となる様頑張ります。ご期待ください。

■問い合わせ先：代表 奥田 健造（おくだ けんぞう）

TEL：080-4009-1192

E-mail：bzk-11772@nifty.com

「自分らしく生きる力を～」夢を育てるキャリア教育の推進・普及活動と

キャリア教育支援活動事業

【事業立上型】

〔夢を育てるキャリア教育の会〕

記入日：平成 28 年 3 月 31 日

【団体の概要】

多くの方にキャリア教育の意義や意味、その有効性など、イベント等を通して理解・浸透を図る。

一人ひとりの社会的・職業的自立に向け必要となる能力や態度を育てる支援「生きる力」を身に付けるための、豊かな学びの場を提供します。



【金の糸～自分探しの旅へ】

＜事業報告＞ 【支援金確定額：200,000 円 支援率：80%】

■実施した事業の内容

キャリア教育関連セミナー5回、キャリア教育関連勉強会3回を中央公民館、勤労市民センター等で実施いたしました。また、多様化した価値観のなかで、自分の目指す未来が描けず、見えない将来に不安を感じ、社会的自立への意義も見出せない、学校から社会へのスムーズな移行が困難となっている等、今までに実施したキャリア教育の経験からも、このような課題が感じられました。課題解決のために多様な情報を精査し、さらなる有益性のあるキャリア教育プログラム開発に取り組みました。

キャリア教育は、特別なことではなく、日常の中で育むことができます。キャリア教育は、自分らしく「生きる力」を育むこと、自分の人生を自分で乗り越えることができる、そんな「生きる力」を伝えていきたいと活動をしています。

例えば、「おこづかいセミナー」では、子どもは金銭感覚が未熟であったり、無計画であったり、他の家庭ではどのような状況なのか、参加者同士でシェアしたり、おこづかいのやりくり等、家庭でもできる「おこづかい教育」の秘訣をお伝えするセミナーを実施いたしました。自己コントロール力が大切であることや、子どものおこづかいで悩んでいる方への解決策の一つとして提供することができました。

また「金の糸～自分探しの旅へ」セミナーでは、すごろくを使い、過去の自分を振り返り、言葉に出して他の参加者へも伝えることで、自己理解が深まったり、自身の価値観に気づいたり、自分らしく生きるためのきっかけ作りとなりました。

■支援金の支出内容

事業の開催や広報、参加者募集のためにチラシを作成するための材料費や印刷費に支援金を支出しました。支援金を用いることで、より広く事業の周知を行うことができました。

また、イベントや勉強会では、講師への謝金や事業で使用した消耗品（文具、教材等）、会場費に支援金を用いました。



【キャリア教育セミナー】

■事業の成果と今後の展望

様々な方にご参加いただいたことにより、多種多様な交流となりました。

今後は、学校、社会（地域・産業界）との「夢の架け橋」となれるように事業をより拡大させる予定です。

また、今後は参加費等を徴収することや協賛を検討し、将来的には経済的な自立をしていきたいと考えております。

■問い合わせ先：事務局 山根 幸子（やまね ゆきこ）

TEL：090-7298-2711

E-mail：yume_sodateru@yahoo.co.jp

〔ふれあい船橋〕

記入日：平成 28 年 4 月 18 日

【団体の概要】

誰もがすぐに実践できるく心のサポート>として「ふれあい」という形のコミュニケーションの重要性」を広め、身近な方とのより良いコミュニケーションを促すことを目的としています。

定期的な研修会と体験会を実施
アロマハンドトリートメントの施術訪問活動をしています。



【イベント参加】

＜事業報告＞ 【支援金確定額：181,179 円 支援率：62.7%】

■実施した事業の内容

ふれあいをテーマに外部講師の方を招き研修会を実施した。

実際に身近な方とのふれあいの実践方法として アロマハンドマッサージの練習会を行った。

船橋健康まつりをはじめとしたイベントに参加し、アロマハンドトリートメントを実施し、触れ合うことでのコミュニケーションを体験していただいた。

市内デイケア施設へ訪問活動を継続的に行った。

■支援金の支出内容

支援金は、主にアロマハンドトリートメント時に使用する オイル代として使用。

触れ合うことで身体の変化を数値で見いただくために、血圧計 血中酸素濃度計を購入。

その他、研修会使用資料に使用。



【アロマハンドマッサージ】

■事業の成果と今後の展望

研修参加者からは、心身ともに楽になった、早速自宅で実践したい等の感想を頂いていた。

訪問活動では担当職員の方から認知症で発語の少ない利用者様の発語が増えた等嬉しいお声を頂いた。

今年度は高齢者のみに限らずふれあいの重要性を提案していきたい。また前年度同様、会自体の健全な運営を目指す。

■問い合わせ先：代表 後長 美香子（ごちょう みかこ）

TEL：047-401-2395

E-mail：fureai.funabashi@gmail.com

〔三番瀬写真展実行委員会〕

記入日：平成28年3月16日

【団体の概要】

三番瀬写真展を企画・運営し、千葉県民を始めあらゆる人々に対して、三番瀬に関する写真等の画像資料の作成・紹介に関する事業等を行い、三番瀬の再生・保全に寄与することを目的とする。

第3回みんなの三番瀬写真展PART2



平成27年1月19日(日)に実施した「第3回みんなの三番瀬観察・撮影会」に参加された方の作品を展示



貝殻大好き！ 工作はもっと好き！

＜事業報告＞ 【支援金確定額：13,280円 支援率：50%】

【写真展の様子】

■実施した事業の内容

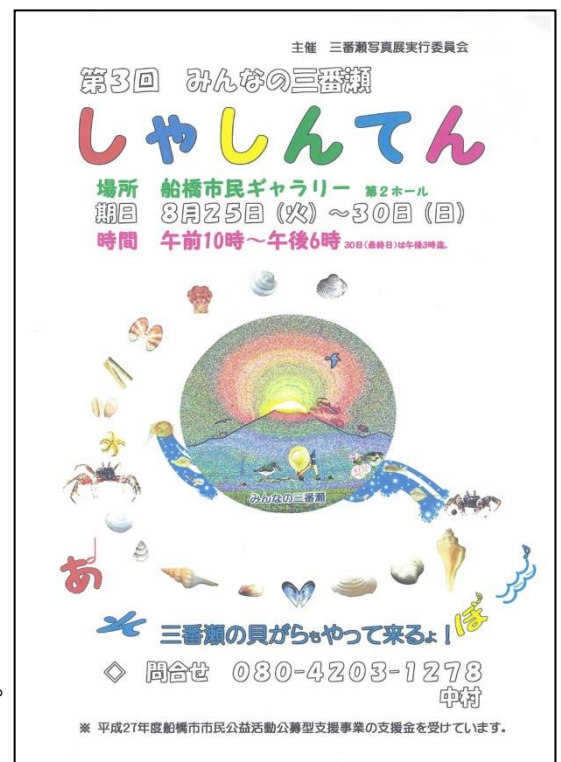
平成27年8月25日～30日に船橋市民ギャラリーにて生物多様性啓発の一環として「第3回みんなの三番瀬写真展」を開催し、松戸徹船橋市長はじめ約400名の来場者にご高覧をいただきました。

会場には「ミニミニ三番瀬の浜辺」を設置し、三番瀬に漂着する貝殻で標本作りや、ネックレス作り等工作を楽しんでいた「夏休み工作」と夢中で工作する子もいました。

■支援金の支出内容

支援金は会場費と来場者に三番瀬の魅力を感じて頂く為に貝殻工作を楽しんでいただく為の材料、ビーズ、テグス、ビニールの袋等の購入に使わせていただきました。

また、チラシ作成のための用紙代、インク代に支出しました。



【エコメッセ2015 in ちば】

■事業の成果と今後の展望

写真展を三番瀬の＜生物多様性保全を啓発する目的＞で開催し、配布資料「三番瀬観察のおともだち：潮騒のしらべ」を参考に三番瀬に漂着する貝殻で工作や貝殻工作を楽しんでいたブース「ミニ、ミニ、三番瀬の浜辺」コーナーを作る。

(ふなばし環境フェア、エコメッセ等イベント会場でも配布)

1年間の活動を纏めた「みんなの三番瀬写真集2016」を11月末に発行。船橋市図書館をはじめ千葉県中央図書館、国会図書館に納本し三番瀬の生物多様性啓発を発信する。

■問い合わせ先：代表 中村 ひろ子 (なかむら ひろこ)

TEL：080-4203-1278

E-mail：nhik1288@softbank.ne.jp

【NGO 三番瀬のラムサール条約登録を実現する会】

記入日：平成 28 年 4 月 20 日

【団体の概要】

私たちはできるだけ多くの市民、企業、大学、行政などに参加を呼びかけ、東京湾に僅かに残された三番瀬の豊かな自然環境を保全するため、ラムサール条約に登録することを目的として活動しています。

具体的にはラムサール条約登録実現に向けて、年間行動計画をもとに勉強会、観察会（ふなばし三番瀬海浜公園）、シンポジウム、写真展、三番瀬食文化出前講座等を開催しています。また皆様の声を署名用紙に託して署名活動（千葉県に 14 万筆提出済）もしています。



【保育園出前授業】

<事業報告> 【支援金確定額：128,626 円 支援率：50%】

■実施した事業の内容

事業内容として、船橋市内の保育園で魚の現物、水槽とタッチプールとお絵かき、魚の解剖をしました。給食でのあら汁や唐揚げにして食しました。

市内のイベントでは漁港の朝市、ふなばし環境フェア、海老川親水市民まつり、御菜浦・三番瀬ふなばし港まつり等に参加して、「東京湾に沢山の種類の魚・生き物がいるか？」を自分達の目で確かめてもらいました（水槽の中にいる生き物の観察、タッチプールではアカエイ、ドチザメ、コモンカスベ等の珍しい魚を触ってもらいました）。三番瀬・東京湾の干潟の特徴と役割を理解していただくようにアサリや牡蠣の水質浄化作用の実験をしました。

■支援金の支出内容

それぞれの出前授業（19回）での水槽やタッチプール展示等に必要なビニールプール、水槽やインク、コピー用紙、写真用品費等の消耗品費や原材料費（魚代等）、講師への謝金に支援金を支出しました。又、出前授業に必要なパネルを作成しました。

支援金により、多くの事業と、スケールの大きな事業を行う事が出来ました。



【ふなばし港まつりに参加水槽展示】

■事業の成果と今後の展望

スタッフ不足のために、船橋市内の保育園しか出前授業が出来ませんでした。それは当団体の基盤を強化することが第一だと思いました。「江戸前のお魚を知ろう！」では座学と魚それぞれの特徴を活かした簡単な調理を参加者で考えて行ったのが良かったです。

市内のイベントで出前授業をした事により多くの市民が五感で、自然豊かな海・三番瀬の重要性と三番瀬は都市型漁業が今でも営まれる宝の海であることを実感していただき、団体の目標の実現に向けての地道な活動であることを実感しました。

■問い合わせ先：事務局 渡辺優子（わたなべ ゆうこ）

TEL：047-422-0772

E-mail：yuko-lapislazzuli25@nifty.com

〔丸山を元気にする会〕

記入日：平成 28 年 4 月 18 日

【団体の概要】

私たちは、船橋市丸山に住む事業者や住人で構成された団体で、地域がより元気になるために様々なイベント活動しています。



【おもちつきの様子】

＜事業報告＞ 【支援金確定額：134,517 円 支援率：50%】

■実施した事業の内容

地域には様々な面白いことや問題があります。後継者が不足する農業や閉店してゆく商店街、高齢化が進み空き家になる家、開発されて新しくできる住宅街。おそらく日本のどこの地域にもみられる現象でしょう。今回私たちは丸山にも当たり前にあるこれらの現象を、昔のように戻そうというのではなく、新しい取り組みとして地域に根差そうとするものでした。

まず、地域に残る農業を知ってもらうために「まるやまマルシェ」と題して地域の野菜直売を行うことを計画しました。しかしこれだけでは集客につながらないという判断もあり、丸山中央商店街にかつてあった夏祭りを新しい形で取り入れました。ここで、農業だけでなく、地域で活動する和太鼓やよさこいなどのグループのみなさんの発表の場にもなり、たくさんの方にお越しいただき、わたしたちの計画は成功に終わりました。

また、2月には子供たちを中心におもちつきイベントを催しました。ここで、私たちの周辺には畑があって身近で野菜などの作物がとれることを知ってもらおうと、マルシェを同時開催しました。

蒸籠で蒸したもち米が臼に投げ込まれ、パタパタとつき上がってゆく様子に興味をもち、自分もやりたいと言って積極的に参加してくれる地域の子供たちをみて、私たちにとってもやりがいのあるイベントでした。

■支援金の支出内容

主に、イベントで使用するものの購入費やレンタル料、ゲームの景品や食材、広告費、傷害保険料に充てられました。



【祭りの様子】

■事業の成果と今後の展望

私たちの活動も認知度を増し、応援してくださる方々と共に、成功した事業は積極的に発展させ、うまくいかなかった部分は改善しながら、試行錯誤ですが、これからも地域をますます元気にするイベントを考え、これによって丸山に住んでよかったと言ってもらえるようにがんばりたいと思います。

■問い合わせ先：事務局 阿部 直（あべ ただし） / 新田 ひとみ（にった ひとみ）

TEL：047-430-6014

E-mail：genkikai@group.plala.or.jp

〔NPO 法人シビルまちづくりステーション 船橋防災関連プロジェクトチーム〕

【団体の概要】

記入日:平成 28 年 3 月 31 日

1. 市民参加による市民・行政との協働によるまちづくりとNPOとの連携。
2. 緑化・芝生化活動；校庭（小・中学校）、園庭（幼稚園等）の芝生化を推進。
3. 教育・啓発活動；まちづくりを中心とした講習会開催による教育・啓発を行っています。
4. 防災および被災地支援活動・被災地支援等。
自治体・地域住民への情報提供。現地技術調査等。



【中・高生による夏の体験学習】

<事業報告> 【支援金確定額：47,237 円 支援率：50%】

■実施した事業の内容

土砂災害危険個所の抽出や調査状況に関して千葉県河川整備課、船橋市危機管理課、宅地課にヒヤリングを行った。危険個所の選出、基礎調査は県河川整備課が行い、船橋市危機管理課は避難勧告等が発令された場合の避難勧告等を周辺住民に対し周知徹底や避難指示等を行う役割であることを認識しました。

土砂災害は「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」の3種類があり、船橋市内では地形・地質の関係から「がけ崩れ」のみ発生が想定されます。

土砂災害危険個所（平成14年調査）は船橋市内で60箇所存在し、26個所の基礎調査が完了しており、残りの箇所は平成31年までに終了の予定です。

「ふなばし夏のボランティア体験」の一環として中・高生を対象にした「自分の街を知り、災害を知って、何をすべきか考えよう！」をテーマに体験学習を延べ3日間開催し、土砂災害の基礎知識、現地調査、そのまとめなどを行いました。

セミナーは土砂災害危険個所が分布する自治会の方々を対象に開催しました。内容は激化する自然災害や土砂災害についての講義、DVD（避難してよかった等）の上映、クロスロードゲームおよび意見交換を実施しました。

年間の活動報告として「土砂災害防止法と基礎調査」「土砂災害を知ろう」の小冊子を発行。

■支援金の支出内容

中・高生の体験学習やセミナー開催広報や参加者募集のためのチラシや講習会の配布資料を作成するための材料費や印刷費に支援金を支出しました。また、参加者への連絡に通信費を使用。

活動状況報告として上記小冊子作成の材料費・印刷費に支援金を使用しました。

また、体験学習やセミナー等の開催に公民館使用料を支出しました。



【セミナーにおけるクロスロードゲームの状況】

■事業の成果と今後の展望

中・高生の体験学習を通じ、自分たちの住む地域での自然災害に対して認識を深め、今後の社会活動に役立てたいとの意見があり、頼もしく思いました。

セミナーでは土砂災害警戒区域の指定に関し、住民の方々から危険個所は指定の有無に拘わらず危険であり、資産価値の低下を理由に他の人を犠牲にすべきではなく、対策工実施のためにも指定すべきとの意見があった。

今後さらに地元との意見交換の場を設け、これを踏まえた土砂災害対策の提言、安全・安心社会の構築が肝要と考えます。

28年度支援事業は不採択になったが、60箇所以上の危険個所が存在し、当NPOの今後の独自調査が必要であると判断しています。

■問い合わせ先：代表 花村 義久（はなむら よしひさ）

TEL：047-439-2082

E-mail：y-hanamura@nifty.com

〔船橋市援農クラブ〕

記入日：平成 28 年 4 月 21 日

【団体の概要】

船橋市の野菜生産に関する作業等において、市内農業生産者のもとで年間を通じた野菜出荷作業などの協力や援助を行うことにより、船橋市農業の活性化と向上を図って行きます。

また、栽培技術、作業効率向上等のため、自主耕作作業を通して仲間と生きがい共有しながら充実した活動を行って行きます。



【農業ボランティア作業】

<事業報告> 【支援金確定額：144,291 円 支援率：50%】

■実施した事業の内容

年間を通じ8軒の生産者に対し出荷作業や除草などの農業ボランティア作業を実施しています。
また、遊休農地対策とし450坪の圃場にサツマイモやジャガイモ等の自主耕作作業を行い、市内福祉施設等の農作業体験や農作物の提供を実施しています。

毎週水曜日は自主耕作作業を行うとともに第二水曜日には役員会議を開催し意見交換の場を設けています。

事業実績

平成27年4月	通常総会開催
6・8月	直売イベント・全体意見交換会実施
10月	市民大学校/船橋特別支援学校/NPO法人に対するサツマイモ掘り体験実施
11月	市農水産まつりに対する協賛農産物の提供 船橋特別支援学校中学部サツマイモ掘り体験 アンデルセン公園直売(雨天のため中止)
12月	全体意見交換会実施

■支援金の支出内容

主なものは事業実施における種子、苗、農業資材等に支援金を支出しました。
また、農作業における機械類の付属品等にも支出し、充実した装備になりました。



【サツマイモ掘り体験の様子】

■事業の成果と今後の展望

援農ボランティア活動も3年を過ぎ、今年度はクラブ員メンバーも34名と増え、さらに研修中の次期メンバーもあり、ますます活動の幅が大きくなっています。受入農家も現在は10軒だが、今年度はさらに増やす予定です。

自主耕作作業や機械類取扱研修等の充実、また、市内福祉施設、教育機関等への農産物の提供を通して市内農業の魅力を周知するとともに、さらなる経験を通して都市農業の維持や発展につながるものと確信しています。

■問い合わせ先：代表 野口 廣之（のぐち ひろゆき）

TEL：047-422-1127

〔船橋ワーキングマザーの会〕

記入日：平成28年4月19日

【団体の概要】

働く女性が、ママとして、職業人として、そして個人としてもイキイキと輝くことを目指します。地域の働くママを元気にし、子育て環境、両立就業環境の向上に寄与することを目的として活動しています。

- ・メインの支援層：育児休暇中～復帰後数年の働くママ（最も両立への不安や悩みが多い時期であるため）
- ・活動内容：①毎月1回のイベント（交流会、学習会など）開催による、直接対面機会の設定②ブログ、SNSを活用した情報交換機会設定③地域のイベント参加、子育て支援機関との連携



【子育てと仕事、両方の話が通じる仲間】

<事業報告> 【支援金確定額：188,517円 支援率：50%】

■実施した事業の内容

- ① 毎月1回定期イベントを開催。子育てや両立生活に役立つ勉強会を実施。不安解消と具体的な行動促進を行なった。
- ② ブログ、SNSを活用した情報提供および交換機会設定
- ③ 地域のイベント参加、子育て支援機関との連携など

【本年度の重点項目】

1. パートナーを巻き込んだ活動
2. 働くママの長期的視点でのキャリア形成支援

【毎月のイベント（●）とその他の活動（☆）】

4/4：●ポーラセツ体験（親子クラフト）、5/16：●ちゃんとかんたん毎日ごはん食育講座
 5/24：☆ママ向けイベント出展（千葉市・WOMAM フェスタ）、6/27：●小児歯科・歯とお口の健康講座、7/11：●小1の壁勉強会（学童保育）、8/29：●保育園勉強会（育休ママと復職ママの交流含む）、9/9：☆就転職フェアでワークショップ開催（ママハピ WORK）、9/27：●共働き子育て講演会、10/24：●ハーブティ交流会（リフレッシュと情報交換）、11/1：●子育て応援メッセ展示ブース・ワークショップ、12/19：●親子カフェ交流会、1/17：●産後の心と身体の変化講座（産後ドゥーラ）、1/23：☆FM西東京「ファザーリングラジオ」に代表が出演、2/11：☆市長とのまちづくり懇談会開催、2/20：●復職支援講座（家事育児仕事の分担とやりくり）、3/26：●セルフ整体講座（心身のメンテナンス）

■支援金の支出内容

- ・広報（リーフレットの作成）、会場使用、報酬（講師、保育スタッフ）、文具などの消耗品、資料作成のための参考資料などの購入に支援金を役立てている。参加費を安価に抑えつつ充実した内容を担保でき、参加者に喜ばれている。
- ・毎月のイベント開催では会場確保が一番の課題。公共施設の予約抽選に外れた時に民間の有料施設を使えることが助かっている。



【ママとパパ（パートナー）が一緒に参加して、『共働き・共育て』仲間をつくる】

■事業の成果と今後の展望

⇒会員数増加（110名以上の新規会員登録）、述べ参加者数120組以上の親子・家族（パートナー含む）

新年度の重点項目：

1. パートナーを巻き込んだ活動
2. 働くママの長期的視点でのキャリア形成支援
3. 心身の健康管理
4. 事業継続の経済的土台形成

新年度の新たな取り組み：

- 地元企業とのコラボイベントなど開催
- 「ふなばし共働きの手引き（仮題）」小冊子の制作⇒広告協賛団体募集中
- 地域での多世代交流機会の創出（地域清掃イベントを計画中）⇒協力団体募集中

■問い合わせ先：事務局代表 高橋 奈緒子（たかはし なをこ）

TEL：080-3485-6019

E-mail：fwmama@gmail.com

心と心のかけ橋を作り、温かい親子関係を築く

コミュニケーションのコツを学び広める活動

【事業提案型2年目】

〔親業ひまわりの会〕

記入日：平成28年3月31日

【団体の概要】

人間関係が希薄な現代において、一人一人が大切にされる社会を作りたく、誰とでも信頼関係が築けるコミュニケーションの方法を90分のセミナーを通じて、わかりやすく、和やかな雰囲気でお伝えしています。

親業（ゴードン・メソッド）は、ノーベル平和賞にもノミネートされた、世界共通の親（人間）教育と称されるものです。



【目からウロコのセミナー】

＜事業報告＞ 【支援金確定額：85,404円 支援率：50%】

■実施した事業の内容

市内の公共施設（勤労市民センター、中央公民館など）で、一般市民の方を対象に、「親業講演会」として、90分のセミナーを9回開催しました。

内容は、①相手が悩んでいる時の、聴き方（受容の仕方）

②相手のプライドを傷つけない、伝え方（物の言い方）

③いじめや不登校、親子関係で悩んでいる人への寄り添い方 などについて。

誰にでも理解ができるように説明し、実践できるように、体験ワークを取り入れて行いました。お隣の方とも、親しくお話ができ、皆さん、ホッとした様子で、「参加して本当に良かった」「目からウロコ」「教師や他の人にも聞いてほしい」と感想を寄せて下さいました。

■支援金の支出内容

事業の開催広報や参加者募集のチラシを作成するための材料費や印刷費、また、チラシを配布して下さる学校や幼稚園、各団体への郵送料、会場使用料に支援金を支出しました。

また、資料作成時のインク代や講演会開催に関わる消耗品（事務用品）、ご紹介用の親業の各種書籍の購入にも用いました。



【参加者同士のなごやかな体験ワーク】

■事業の成果と今後の展望

アンケートによると、参加者の満足度はとても高く、喜ばれる活動となりました。

今後は、行政との協働も考えながら、集客に努めたいと思います。

親業は、現代の希薄な人間関係をより良くする学びとして、必要なものと考えておりますので、親のみならず教師や保育士など多くの方にお伝えし、共に学んでいければ幸いです。

■問い合わせ先：代表 堀川 佳子（ほりかわ よしこ）

TEL：047-477-2077

E-mail：horikawa012@yahoo.co.jp

三番瀬をフィールドとし、生き物の生物生態系や自然環境の循環を学び、
市民としてまちづくりに貢献する事業

【事業提案型3年目】

【フィールドミュージアム・三番瀬の会】

記入日：平成28年3月29日

【団体の概要】

三番瀬を中心に「生き物」の生態系から自然環境の循環を学ぶ。
プランクトン、低生物、魚、鳥、人間の関わり方を生きたフィールドで様々な市民と観察し自然の素晴らしさを共有する。

また、その素晴らしい自然を未来にも享受出来る様に地域と繋がりながら保全活動する団体。



【夏休みボランティア体験】

＜事業報告＞ 【支援金確定額：35,764円 支援率：50%】

■実施した事業の内容

生きたフィールドでの観察会を学生対象（「ふなばし夏のボランティア体験」8月15日・22日開催）、日本在住の外国人親子対象（国際交流会（10月17日開催）、一般市民対象（3月21日開催）に分け3回開催しました。

学生には生き物の循環を海岸で採取した生き物を観察し、渡り鳥が餌として摂取している様子を観察。海岸で見られる海藻、貝、カニの標本づくりで個々の生態や生き物循環の教え方を伝授。

外国人親子に対しては船橋市内で生き物達が多様に数多く生きている事を目と手と匂いで感じて貰い、その素晴らしさを体で覚えてもらい、子供たちの生き生きした目の輝きをみた。

一般市民は渡り鳥の生態として三番瀬は渡りの中継地点で重要な休息場で有り、体力回復の食事の場である事を渡り鳥の捕食行動で学び、砂浜に生息する生き物を採取観察し干潟の大切さを学んでもらった。

イベントでは同じ志を持つ団体との交流として、船橋環境フェア（6月17日）にてパネル展示と学生皆様が作った貝の標本を配布し、エコメッセ2015 in ちば（9月23日）ではエコステージで三番瀬の大切さをプロジェクターを用いてプレゼン、船橋市民活動フェア（1月31日）に出展しプレゼンステージにて来場者へ三番瀬の素晴らしさをアピール。また、各団体と活動内容を聞きながら交流をしました。

■支援金の支出内容

観察会では低生物採取のための器具、標本作りの道具、調査用の図鑑、専門講師の謝金、観察会のチラシ・販売用冊子の印刷費用。

団体での交流はイベント出展会場費、出展パネル製作費（写真A4含む）、パネル運搬費。

以上の内容で支援金を支出しました。



【国際交流会との観察会】

■事業の成果と今後の展望

観察会の参加者は初めて三番瀬に来た方が多く、生き物が生息する自然の素晴らしさを知り、その気付きにより生物多様性を守る大切さの必然性を感じ取って頂いた。

博物館で展示品を見るのとは違い生き物の生息するフィールドでの観察は重要である。

今回3月21日開催の一般市民対象の観察会は千葉県野鳥の会と合同で開催し効果を上げましたが、今後三番瀬に関係ある団体と合同で開催出来る様検討する。

■問い合わせ先：事務局 斎藤 清（さいとう きよし）

TEL：090-4532-4137

E-mail：fwic4383@mb.infoweb.ne.jp

〔“伝えよう船橋” の会〕

記入日：平成 28 年 3 月 5 日

【団体の概要】

船橋をよく知ること、それが地域への愛着や関心に発展します。その重要な入口として船橋の歴史・文化財・特産物・産業・自然などを詠んだオリジナルの『船橋かるた』を使って楽しみながら子供達に船橋の歴史や文化を継承するとともに児童の健全育成を図ることを目的に活動しています。

また、かるたウォーキングなどを開催することで世代間交流や地域交流を図り、住みよいまちづくりにも貢献します。



【三咲小放課後子供教室】

＜事業報告＞ 【支援金確定額：87,964 円 支援率：50%】

■実施した事業の内容

校長会で『船橋かるた』を紹介し、小学校への普及をすすめました。その結果、来年度は全ての小学校へ 8 セットずつを配布していただけることになりました。

宮本公民館まつりに児童ホームと共催でカルタ遊びを実施したり、松が丘公民館ではハッピーサタディでカルタ遊びをしながら子供達に船橋について学んでもらいました。

夏休みに三咲小の放課後子供教室に行きカルタ遊びを通して船橋のことを伝えてきました。

船橋レクリエーション協会と共催でかるたウォーキングを実施し、世代間交流や地域交流を図ることができました。

カフェでかるたの原画展を行い、市民にかるたの普及を試みました。

ケーブルテレビ、地域新聞などの取材に協力することで宣伝効果をあげることができました。

ふなばし市民活動フェアに参加することで市民にアピールできました。

■支援金の支出内容

おもに『船橋かるた』100セットの製作費用として使わせていただきました。

その他、カルタ遊びの時に使用する大型かるたの印刷費用、かるたウォーキングの資料作成費、原画展の場所代とその為の額等の準備費用に用いました。



【かるた原画展】

■事業の成果と今後の展望

小学校に普及させるという目標はかなり達成させる事ができました。これからも小学校の「郷土船橋」の授業での『船橋かるた』の補助教材活用を促進していきます。

また各地域の公民館・児童ホーム・放課後子供教室でのカルタ遊びを実施しながら子供たちに船橋のことを伝えていきたいと思っています。

かるたウォークをすることで子供だけでなく広く船橋市民に『船橋かるた』を普及させたいです。

■問い合わせ先：代表 鈴木 久美子（すずき くみこ）

TEL：047-435-2243

E-mail：suzuki-kmk@ee.e-mansion.com

〔船橋漁港の朝市委員会〕

記入日：平成28年5月9日

【団体の概要】

「船橋市民の皆さんに船橋の海・漁業・漁港のことをもっと知って欲しい！」という想いから船橋漁港で毎月第3土曜日に朝市を開催しています。2010年8月が初回ですので2016年4月時点で6年目となりました。

船橋漁港水揚げの鮮魚・貝類・海苔などの水産物の販売、船橋産農作物を生産者が直売、それらを使った加工品（佃煮、窯焼きピザなど）を販売しています。



【船橋漁港の2大看板スズキとホンビノス貝が抜群の鮮度で手に入ります】

＜事業報告＞ 【支援金確定額：164,372円 支援率：50%】

■実施した事業の内容

「船橋漁港で水揚げされた水産物はどこへ行ったら買えるの？」という声に答えるべく、船橋漁港（湊町3丁目）にて毎月第3土曜日午前中に朝市を開催しております。

船橋漁港水揚げの水産物（鮮魚、貝類、海苔）、船橋産の農作物を生産者の方が直売、それらを使った佃煮などの加工品、石窯でその場で焼くピッツァなどの販売を行っています。

船橋漁港の朝市は2010年8月に第1回を開催し毎月1度の開催を継続しております。

■支援金の支出内容

「お魚さばき方教室」の講師謝金、「船橋漁港の朝市瓦版」と銘打ったニュースレターの制作費・印刷費に充てました。

ニュースレターを毎回発行することで、船橋漁港の朝市をさらにアピールできるツールができました。ニュースレターやWebページやFacebookページなど、デジタル・アナログを併用した広報ツールを活用し今後も継続してアピールしていきます。



【船橋漁港の朝市では水産物だけでなく新鮮な農作物やそれらを使った加工品も手に入ります。（写真は西船橋産小松菜とジェラート）】

■事業の成果と今後の展望

次年度以降も現在と同じく毎月第3土曜日に朝市を開催予定です。市民公益活動による本事業への行政からの補助は平成27年度をもって終了します。

本事業は可能な限りコストがかからない形を目指して行ってきました。過去に本事業で補助を受けた費用は主に本事業の広報の為に用途で使用してきました。その甲斐もあって朝市への来場者数が増え、出展者数の増加にもつながりました。次年度以降は補助がなくとも事業継続は可能と考えております。

■問い合わせ先：代表 内海 金太郎（うちうみ きんたろう）

TEL：090-2688-7299

E-mail：kintaro@kane8suisan.com

〔坪井湿地を復活する会〕

記入日：平成28年4月1日

【団体の概要】

新しい街の住人に街への愛着を持ってもらえるよう坪井近隣公園内の調整池に坪井の湿地を復活し、そのシンボルとして坪井原生のヘイケボタルの自然発生に取り組んでいる。

主な事業としては、船橋市立坪井小、県立船橋芝山高校、東邦大学里山応援隊、日本大学理工学部の指導、協力によりホタル幼虫の育成、湿地整備を進めている。



【湿地の整備作業】

＜事業報告＞ 【支援金確定額：109,425円 支援率：50%】

■実施した事業の内容

- ・ホタル講演会の開催（坪井公民館共催）
 - 第1回 6月13日（土）午後1時30分～3時：講師里山応援隊：◆里山ってどんなところ
 - 第2回 6月27日（土）午後1時30分～3時：講師芝山高校：◆里山とカエル
 - 第3回 7月11日（土）午後1時30分～3時：講師芝山高校：◆里山とトンボ
 - 第4回 7月24日（金）午後6時30分～8時30分：講師芝山高校：◆里山とヘイケボタル
- ・湿地の草刈りなどの整備・・・5月、12月
- ・遮光ネット（街灯対策）設置・・・7月
- ・ホタル成虫観賞会（坪井公民館にて）・・・7月
- ・親ホタルの採取、採卵、幼虫飼育開始・・・7月、8月
- ・水質検査の実施・・・5月10月、28年2月実施
- ・秋から冬の幼虫観察会・・・11月、28年1月、3月
- ・PR活動
 - 船橋市環境フェアへの出展、湿地にポスター掲示、缶バッジの作成、配布

■支援金の支出内容

- ・飼育水槽の維持・・・水槽、ポンプ購入
- ・湿地整備・・・農具、遮光ネット、支柱購入、
- ・講演会・・・講師謝礼、実験機材購入
- ・PR活動・・・会ののぼりを製作し活動を地域の人に示す。キャラクター制作、缶バッジ製作



【冬の幼虫観察会】

■事業の成果と今後の展望

飼育水槽の中ではあるが、その中で育った坪井原生のヘイケボタルが見られたことで、住民のホタルと自然環境に対する関心が高まった。

- ・活動を通して、周辺の小学校、高校、大学と交流ができた。
- ・地元の美し学園自治会の協力が得られるようになった。
- ・28年度も原生ホタルの採集、坪井近隣公園内の湿地整備、ホタル講演会の開催などを通じて、活動の盛り上げとホタルの自然発生を実現させたい。
- ・ホタル原生地宅地化の情報があり、新たに生息地を探す。

■問い合わせ先：代表 江口 章（えぐち あきら）

TEL：047-456-7551

E-mail：mirukun610@nifty.com

〔船橋市障がい者スポーツ協会〕

記入日：平成 28 年 3 月 31 日

【団体の概要】

障がい者のスポーツ・レクリエーション及び文化等の振興を図ることにより、障がい者等の社会参加と健康増進に寄与することを目的に活動しています。

具体的には、障がい者スポーツ教室の開催、障がい者スポーツボランティアの実施、船橋市障がい者スポーツ交流フェスタの開催等を通して、船橋市の障がい者スポーツ・レクリエーションの普及・推進に努めています。



【スポーツ交流フェスタ・ボッチャ大会】

<事業報告> 【支援金確定額：180,920 円 支援率：49.5%】

■実施した事業の内容

①スポーツ教室の開催

薬円台教室（薬円台公民館） 年間48回実施 種目：バドミントン、スポーツ吹矢、卓球、ダーツ。

前原教室（前原中学校） 年間30回実施 種目：太極拳、ジャズ体操、バドミントン、スポーツ吹矢。

②千葉県障害者スポーツ大会等の協力 5月30日開催の障害者アーチェリー競技大会の運営協力。

③船橋市障がい者スポーツ交流フェスタの開催（12月6日・薬円台公民館）

広く参加者を募り、障がい者とのスポーツ交流（ボッチャ大会、昼どきライブ、吹矢大会、卓球大会、障がい者スポ・レク体験）を実施しました。

④障がい者スポーツボランティアの実施（年間90回）

障がい者施設訪問（吹矢指導）、卓球指導、アーチェリー矢取りボランティアの他、ふなばし市民大学校授業、身障者センタースポーツ教室、ふなばし市民祭り、福祉祭り、子ども祭り等にも協力。

■支援金の支出内容

①スポーツ教室、交流フェスタ等の講師謝礼

②事務用品等の消耗品費

③チラシ、協会だより等の印刷製本費

④協会だより等の通信費

⑤使用料、用具借上費



【市民大学校でのスポーツ吹矢授業】

■事業の成果と今後の展望

スポーツ教室参加は600名を超え、スポーツボランティアは年間90回を超えました。多くの皆さんに理解が深まり、障がい者スポーツの普及・推進が図られました。

2020年東京パラリンピックに船橋市から選手を！そしてみんなで応援に行こう！をテーマに、今後も障がい者スポーツが楽しめる環境づくりに努めます。

■問い合わせ先：会長 高橋 久吉（たかはし きゅうきち）

TEL：090-4226-9623

E-mail：pi090105-2986@tbz.t-com.ne.jp

お問い合わせ：船橋市 市民生活部 市民協働課
〒273-8501 船橋市湊町2-10-25
TEL：047-436-3201
E-mail：shiminkyodo@city.funabashi.lg.jp